



JASSO

給付奨学金（新制度）

「給付奨学金継続願」準備用紙

給付【見本】

必ず学校の定めた期間内に入力してください。

- ◆ 次年度も継続して給付奨学金の支給を希望することについて、毎年1回願い出る必要があります。
- ◆ 停止中の場合や他の国費を受給中で給付月額が0円になっている場合でも入力が必要です。

⚠ 入力を確認できない場合、2024年4月から給付奨学金の振込みが止まります。

奨学生としての自覚と責任を持って勉学に励んでください。

- ◆ 継続願を入力すると、学校はあなたの学業成績等に基づき給付奨学金の継続可否等を判定し、機構はその判定結果に応じて給付奨学金の継続等に必要な措置をとります（4ページを確認してください）。

⚠ 適格認定（学業）の結果により給付奨学金の支給が廃止（打ち切り）となる場合があります。

偽りその他不正の手段によって受給した給付奨学金は、返金することになります。

手続きの流れ

(1) スカラネット・パーソナル（以下「スカラPS」）で「給付額通知」の内容を確認します。

「給付奨学金継続願」の入力もスカラPSを経由して行います。まだ登録されていない場合は、すみやかに登録をしてください。

スカラPSの登録はJASSOホームページへ

ホーム >> 奨学金に関する情報を目的から探す >> 目的から探す
>> 各種申請・変更手続きを行いたい（スカラネット・パーソナル）



申込時や進学届入力時のサイトとは異なります。まずは新規登録をしてください。



※ 登録には「奨学生番号」や「奨学金振込口座番号」等が必要です。「奨学生番号」は、採用時に交付された奨学生証等で確認してください。

(2) 「給付奨学金継続願」を入力するための準備をします。

入居中、一つの画面で30分以上経過した場合はタイムアウトとなり最初から入力することになります。あらかじめ2～3ページに回答内容の下書きを記入しましょう。

学校に確認してください。



(3) スカラPSより「給付奨学金継続願」を入力します。

入力期間	2024年1月11日(木) ※ 土日祝日（12月29日～1月3日を除く）も入力できます。
入力可能時間	8:00 ~ 25:00

⚠ 推奨環境（3ページ参照）やポップアップの設定も確認してから入力してください。

A-給付奨学金継続願について

「給付奨学金継続願」は、次年度の給付奨学金の継続の意思を確認するための大切な願出です。この願出の記入内容と、平素の学業成績等を総合的に審査し、学校が給付奨学金継続の可否等を判断します。願出を提出しても必ず継続して給付されるとは限りません。

B-誓約欄

日本学生支援機構理事長 殿

給付奨学金継続願の提出にあたっては、正しく記入することを誓約します。

入力当日の日付を正しく入力してください。(半角数字)

姓 (15 文字以内)

名 (15 文字以内)

西暦 年 月 日 氏名 (全角カナ)

正しい生年月日を入力してもエラーになる場合は、学校に確認してください。

生年月日 (西暦) 年 月 日生

C-あなたの個人情報

あなたの個人情報と給付明細が表示されますので、確認してください。

D-奨学金振込みの継続の確認

あなたは継続願を提出して引き続き4月からの振込みを希望しますか。

- 給付奨学金の継続を希望します
- 給付奨学金の継続を希望しません

22
強押
不可

機構判定で
2024年9月まで給付終了判定。
台退はできません。
※資産超過は2024年10月の
在籍報告で入力、2024年10月
以降は「停止」

っているかどうかに関わらず、あなたの希望により、「継続を希望しません」を選択した場合、「」となり、4月分以降の振込みが止まります。「」を含むすべての停止理由が解消されません。よく考えてから選択しましょう。「ます」を選択した場合でも4月分以降振込みことがあります。詳細は4ページを参照して

資産超過した場合は、2024年4月の在籍報告で入力。

給付奨学金は、辞退することができません。「継続を希望しません」を選択すると、振込みが中断されます。振込みを再開する場合は学校へ申し出てください。

E-給付奨学金の返還

- 交付済みの給付奨学金について返還が必要になる場合があることを承知している
- 交付済みの給付奨学金について返還が必要になる場合があることを承知していない

F-廃止や停止の処置

- 廃止や停止の処置について理解している
- 廃止や停止の処置について理解していない

この項目について「承知していない」もしくは「理解していない」場合は手続きを先に進めることができません。返還が必要になる場合があることや処置については4ページに記載されています。必ず読んでから選択しましょう。

G-学生生活の状況

1. この1年間の学生生活の状況などを記入してください。〔全角200文字以内〕

例) 課外における活動の参加、ボランティア等の社会参加

8割(160字)以上

H-学修の状況

1. (1) この1年間の授業出席状況について、あてはまるものを選択してください。

(a) 全部もしくはだいたい出席した (b) (a) 以外

(2) (1) で (b) を選択した人はその理由を具体的に説明してください。〔全角200文字以内〕

(b) を選択したら、8割(160字)以上

2. (1) この1年間の学修に対する取り組みの姿勢について、あてはまるものを選択してください。

(a) 熱心に取り組んだ (b) 取り組みが不十分だった

(2) (1) で (b) を選択した人はその理由を具体的に説明してください。〔全角200文字以内〕

(b) を選択したら、8割(160字)以上

I-アンケート(参考)

奨学金事業実施の参考とさせていただくためアンケートへのご協力をお願いいたします(任意)。なお、回答内容が奨学金の振込みに影響することはありません(回答内容の訂正はできません)。

給付奨学金継続願情報一覧

・入力内容に誤りがないか等を確認し、「送信」ボタンを押してください。

給付奨学金継続願提出完了

・「送信」ボタンを押すと表示される **16桁の受付番号を必ずスクリーンショット等で保存**してください。

※「継続を希望しません」を選択した場合も受付番号が表示されます。

受付番号記入欄	X	X	X	X	X	X	X	X	-	X	X	-	X	X	X	X	X
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

・「送信」ボタンを押した後も一定期間はスカラPSから内容の訂正が可能です。

※スカラPSに「訂正不可」もしくは「提出期間外」と表示されている場合は、すみやかに学校へ申し出てください。

※訂正できない項目もありますのでご注意ください。

 入力時の情報は在学学校または本機構で調査・統計等に使用する場合があります。(個人が特定されることはありません)

受付番号が表示されたら完了です。



継続願提出(入力)にあたって

- ・ポップアップブロックを設定していると、奨学金継続願提出画面が開かない場合があります。
- ・スカラPSの推奨環境を満たしていない端末では入力できない場合があります。

◀ 推奨環境 ▶

推奨環境以外の場合、「識別番号が違います」というエラーが出ることがあります。

OS : Windows 8.1、Windows 10、Windows 11、iOS 11 以上、AndroidOS 8.0 以上

ブラウザ : Microsoft Edge、iOS 版 Mobile Safari、Android 版 Google Chrome

※ Android は Google Chrome、iOS は Safari にのみ対応しています。

※ OS : Mac 系、ブラウザ : Firefox や PC 版 Google Chrome 等、上記以外の環境下においては動作保証していません。

適格認定（学業）とは

あなたが「給付奨学金継続願」を入力すると、学校はあなたの学業成績等に基づき、給付奨学金の継続の可否等を判定します。学業不振等の場合には給付奨学金の支給を廃止（打ち切り）とするほか、支給済の給付奨学金の返還を求めることがあります。



◆ 給付奨学金の適格認定（学業）の区分（適格基準と処置）

※ 貸与奨学金より厳しい基準で認定されます。

認定区分	適格基準	処置（どうなるか）
廃止	<ul style="list-style-type: none"> 次の1～4のいずれかに該当するとき 1. 修業年限で卒業又は修了できないことが確定したこと 2. 修得した単位数の合計数が標準単位数の5割以下であること 3. 履修科目の授業への出席率が5割以下であることその他の学修意欲が著しく低い状況にあると認められること 4. 警告の区分に該当する学業成績に連続して該当すること（下の「停止」の区分に該当するものを除く。） 	<p>【4月以降の給付奨学金の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>給付奨学生の資格を失います。</u> <p>【4月以降の振込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>振り込まれません。</u>
<p>「廃止（返還）」の判定について（返還が必要になる場合）</p> <p>学業成績が著しく不良（学修の実態が認められない状況）であり、災害、傷病その他のやむを得ない事由がない場合は、学年の始期に遡って給付奨学金の返還を求めます。</p> <p>※ 学修の実態が認められない状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修得単位数の合計（累積）が標準単位数の1割以下である場合 ・ 出席率が1割以下など、学修意欲があるとは認められない場合 		
停止	<p>警告の区分に該当する学業成績に連続して該当すること（2回連続して警告となった場合のうち、2回目の警告の理由が「GPA等が学部等における下位4分の1の範囲に属する場合」のみ。ただし、3回連続で警告となった場合を除く。）</p>	<p>【4月以降の給付奨学金の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>給付奨学生の支給が中断されます。</u> ・ 学業成績が回復しない場合は、「廃止」となることがあります。 <p>【4月以降の振込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>振り込まれません。</u>
警告	<ul style="list-style-type: none"> 次の1～3のいずれかに該当するとき（上の「廃止」の区分に該当するものを除く。） 1. 修得した単位数の合計数が標準単位数の6割以下であること 2. GPA等が学部等における下位4分の1の範囲に属すること 3. 履修科目の授業への出席率が8割以下であることその他の学修意欲が低い状況にあると認められること 	<p>【4月以降の給付奨学金の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給付奨学金の支給は継続します。 ・ 学業成績が回復しない場合は、「廃止」又は「停止」となることがあります。 <p>【4月以降の振込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>振り込まれます。※</u>
継続	<ul style="list-style-type: none"> 「廃止」、「停止」、「警告」以外の者 	<p>【4月以降の給付奨学金の取扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給付奨学金の支給は継続します。 <p>【4月以降の振込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>振り込まれます。※</u>

※ 「警告」や「継続」であっても、停止中や他の国費を受給中で給付月額が0円の場合、振込みはありません。

※ あなたの申請により現在停止中の場合、「継続を希望する」を選択しただけでは振込みが再開されません。

所定様式の提出が必要なため、振込みを再開する旨を学校へ申し出てください。

※ 2024年4月分の振込日は、4月19日(金)です。

※ 「処置通知」は4月の振込日以降に学校を通じて交付します（「継続」は交付されません）。4月分の振込状況は、ご自分で通帳記帳等にて確認してください。